技術・家庭科 《第1学年技術分野》年間指導計画・評価計画

担当（飛内　克悠）

技術・家庭科　目標

（1）　生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（2）　生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

（3）　よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標

（1）　生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

（2）　生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

（3）　よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

（例）知は、知識、技能　思は、思考、表現、判断　主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準		評価方法	小学校との関連
4	**ガイダンス** **＜４時間＞** 〇技術と私たちの生活 〇技術分野の学習	技術と生活、環境との関わりを考えさせる。	・身近な生活の中にも，さまざまな技術があることに気づかせる。 ・技術が生活の向上や産業の発展に影響を及ぼしていることを知らせる。	主	技術と生活の関係に気付き技術に役割に関心を示している。	授業監察 ワークシート	環境学習との関連
5 6 7 9 10	Ａ材料と加工に関する技術 **身の回りの製品の設計と製作＜６時間＞** 〇ものづくりの進め方 〇様々な材料の特徴、材料と環境 〇製品の目的と機能、構造 〇材料と加工法 〇構想のまとめと製図 **オリジナル木製品の製作** **〈１１時間〉**	技術が生活の向上と産業の発展に果たす役割を考える。 材料の特徴と利用方法を知る。 使用目的に即した製品の設計ができる。 工程表にそって製品の製作ができる。 安全に作業が進められる。 加工法と工具、機械の安全な利用ができる。	・ものづくりの進め方について、身の回りにある製品に使われている材料の種類を知る。 ・材料の特徴を知る。 ・製作品を図に表す方法を理解し，製作品の構想を図に表したり，製作のための図をかく。 ・製作品の製作の進め方の理解。 ・けがきの役割と，切りしろ・けずりしろの必要性を知り，正確にけがきができる。 ・のこぎりの構造やしくみを理解し，正確に切断できる。 ・穴あけのしくみを理解し，正確に穴をあけることができる。 ・製作品の表面や角を仕上げる技術を知り正確に仕上げができる。	主	技術と生活の関係に気付き技術に役割に関心を示している。 技術の進展と環境との関係について関心を示している。 環境や作業の安全に配慮して製作しようとしている。	授業監察 ワークシート	図画工作５年生 実習例「自由に切った形から発想したものや用途を考えたものを作る。」などでの使用する工具や加工法との関連 図画工作６年生 実習例「美しい光を出すライトをつくる。」などで使用する工具や加工法との関連
				思	製作品の使用目的や使用条件を明確にし、材料、使いやすさ、丈夫さを検討し適切な形状や寸法を決定している。	授業監察 ワークシート 作品	
				知	適切な製図法で製作品を書くことができる。 製作品に合った様々な加工を適切に行うことができる。	授業監察 ワークシート 作品	

11	○けがき ○切断 ○下地調整 ○塗装 ○穴あけ ○仕上げ塗装 **A 材料と加工に関する技術まとめ** **＜１時間＞**	製作に関する評価・活用ができる。	・仕上げの方法を理解し，構想通りに仕上げる。 ・木材、金属やプラスチックに適した加工方を理解し，適切な製作ができるようになる。 ・材料にあった加工法や製作の進め方ができるようになる。	知 知	木材の材料の特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 製作図の見方、描き方の知識を身に付けている。 材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。 材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。	定期考査 作品 ワークシート 定期考査	
12 1 2 3	**D情報に関する技術** **＜１１時間＞** ○情報と私たちの生活 ○コンピュータの構成 ○情報を処理するしくみ ○ディジタル化と情報の量 ○コンピュータの基本操作 ○ディジタル作品の製作 **情報モラル** **＜２時間＞** ○利用するときのモラル ○人権や個人情報の保護 ○知的財産の保護	コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。 情報利用の基本的な仕組みを知る。 コンピュータを使った情報の利用ができる。 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えることができる。	・コンピュータを利用した情報の技術の利用例やはたらきについて関心をもつ。 ・コンピュータを構成する要素の種類や役割を知る。 ・ｺﾝﾋﾟｭｰﾀが情報を処理するしくみを知る。 ・ディジタル化した情報の量の表し方と，保存する方法を知る。 ・ﾈｯﾄﾜｰｸの種類と構成を知る。 ・ﾈｯﾄﾜｰｸで情報を伝えるしくみを知る。 ・ﾈｯﾄﾜｰｸの危険性と安全対策の必要性を知る。 ・安全に情報を利用するためのしくみを知る。	主 思 知 知	情報社会で適正に活動しようとしている。 情報に関する技術を利用して場面に応じて活動できる。 ディジタル作品の使用目的や使用条件に適したメディアやディジタル化の方法を選択できる。 適切な機器とソフトウェアを利用して情報の表現や発信ができる。 情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響の理解。 コンピュータを構成する主な装置と基本的な情報処理の仕組みについての知識を身に付けている。 著作権や発生する可能性のある問題と情報発信者の責任についての知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 授業監察 ワークシート 授業監察 定期考査	小学校総合的な学習の時間 探究的な学習活動における学習課程 「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の各活動との関連 図画工作５、６年生の課題で利用する「ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ、パソコン、ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀ、スキャナ、画像処理ソフトウェア」などとの関連